

対日理解促進交流プログラム (Japan's Friendship Ties programs)

令和3年度

目的

日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、二国間・地域間関係の発展や対外発信において、将来を担う人材を招へい及び派遣、又はオンライン交流を通じて、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、未来の親日派・知日派を発掘する。また、日本の外交姿勢や魅力等について、被招へい者・被派遣者にSNS等を通じて積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国の外交基盤を拡充する。

対日理解の促進 ・ 親日派・知日派の発掘

対外発信の強化

外交基盤の拡充

概要

【対象者】 招へい、オンライン交流：高校生～社会人等 / 派遣：高校生～大学院生等

【招へい・派遣期間】 10日間程度（令和3年度内に実施）（オンライン事前学習を含む）

【対象地域】 招へい：アジア大洋州、北米、欧州、中南米 / 派遣：アジア大洋州、北米、中南米

【地域別名称】 JENESYS2021（アジア大洋州）、カケハシ・プロジェクト（北米）、MIRAI（欧州）、
Juntos!!（中南米）

【規模】 約16.8億円、約3,100人（令和3年度当初予算）

JENESYS



事業の実施形態

日本政府（事業方針に沿って推進）
（拠出金支出）

国際機関等（事業の実施団体を選定・委託）
（拠出金管理）

実施団体等
（プログラムの企画・実施）

（参考）令和3年度の国際機関等：ASEAN事務局、SAARC事務局等、合計11機関